

この日はみんな大好き  
バイキング給食でした♪



施設長 貝沼 寿夫

## 思いやり

先日のリラクゼーション活動中の出来事です。活動に参加できていない利用者を見かけました。声を掛けてみると、どうも気分が乗らないらしく、車椅子に腰掛け、気分が落ち込んでいるように見えました。私が活動に促しても、もちろん変化はありません。そこで、作業棟で活動しているなかよしの利用者さんに会いに行こうとお誘いすると、渋々ですが応じてくれました。

作業棟に到着し、仲良しの利用者事情を話すと、あいさつを交わし世間話をして「〇〇さん、大好きだよ。明日も来るから、作業やろうね」と伝えてくれました。するとどうでしょう魔法に掛かったかのように元気になり、元の場所に戻って活動に参加することができました。私としては、その利用者さんの思いやりに助けられた思いと同時に、にやりほっとした出来事でした。こぶしでは、日常の支援の中でにやりほっとしたりほっとしたりした出来事を「にやりほっと記録」として、支援者が記録に残しています。時折この紙面でも紹介させて頂いておりますし、定期的にブログ（こぶしのにやりほっと日記）で検索してください。でも紹介していただきますので、ぜひご覧ください。先日そのにやりほっと記録の中に、「他ご利用者がマスクの装着に時間がかかっていると「がんばれ」と相手を思いやる言葉で応援してください。」とありました。

ここに挙げた2つのにやりとした事例は、取り立てて特別なことでもなく、お読み

## キラリ☆と光るこの一枚



余暇の音楽で使用する楽器を、ラップの芯で作成しています！真剣な表情が素敵です！ (丸山)



バイキング給食の様子です！！焼うどん、唐揚げ、デザート3種類など、好きなものをたくさん食べました！！ (照井)

## 成長

ここ1年で目覚ましい成長を見せてくれているAさんの話をします。以前はタブレットを見ながら職員による全介助で食事をされており、食堂へ移動できずに欠食する日もざらにありました。食後は直ぐに居室に戻り、1日の大半を居室でタブレットを見て過ごされていました。それが今では食事中にタブレットを必要とせず、一口目だけ介助するとその後は自力で召し上がっています。居室外で過ごす時間も増え、他利用者さんや職員に積極的に関わるようになりました。

先輩職員から「今は明るいBさんも入所当初は全く喋らなかった」「Cさんはかなり落ち着いてきている」など、利用者さんの成長話を聞きましたが、「今」の様子しか知らないため、あまり実感がわきませんでした。そんな中、初めて利用者さんの成長を自分の目で見届けることで、適切な支援の重要性を再認識しました。今後も利用者さんの成長の一助となれるよう支援に取り組み、また、自分自身も成長していきたいと思えます。

生活支援員 川瀬 涼太



## らしさ

世の中の出来事は、あまりにも偶然にそして急に訪れたりします。予期しないことが起きると、何が正しくて正しくないのか、自分では推し量ることが難しいことがあります。支援で悩んだ時に私は大切にしていることが3つあります。1、利用者さんのためになっているかということ、2、利用者さんはどう思っているかということ、3、1、2を踏まえて「利用者さんらしい」生き方を後押し出来ているかということです。その結果利用者さんの生活が豊かになり、悪くても次は「こうしよう」とその出来事に良い意味付けをしています。

ある利用者Aさんが、「お風呂に入りたくない」と仰っていました。衛生面を保ち、温浴効果があるので職員は「お風呂に入った方が良いですよ」とそのメリットを何度も伝えていきます。元々、衛生面に課題のあったAさん、皮膚科に通っており何とかお風呂に入ってほしいとの想いで職員は支援をしていました。しかし、お風呂に入ることが段々出来なくなる日々が続きました。職員から「お風呂に入らないAさんに困っています」と頭を抱え相談されました。

私は、お風呂に入らない理由が必ずあると職員に問いかけました。過去の聞き取りに何か見落としはないか、Aさんのお風呂の状況を再度確認しました。Aさんはお風呂に入る時、洗体動作には問題ないのですが入浴時間は短く、あっという間にお風呂から出てしまうそうです。ご家庭にいた時にもお風呂に入ろうとせず、困った時があったそうです。本人は汗かきで、暑いのが苦手であることを聞き、もしかしたら湯船に入るのが嫌なのかもしれないと思いました。「シャワーならどうですか？」と聞くとAさんは、「シャワーなら入れます」と仰いました。「お風呂＝湯船に入らなくてはいけない」と思っていたAさん。シャワーでも良いことが分かったAさんは、それ以来毎日お風呂に入れるようになりました。

私たちは、時として人のせいにすることや、間違った考え方をしてしまうこともあります。今回、職員は「お風呂に入らないAさん」と決めつけてしまいましたが「シャワーなら入れる」というAさんの思いや考え方が理解出来て、今後Aさんらしさを引き出せる良い経験が出来ました。

相談支援専門員 佐藤 幸雄



## それぞれ違った姿

今年度から、活動プログラム課に配属になりました。今まで経験の無いプログラムやどんな内容で進めているのか知らなかったプログラムがいくつかあります。最近では少しずつプログラムに入る機会があり、活動内容や利用者さんの様子を知る場面が増えてきました。

月曜日の午後には、コミュニケーション活動があり、そこに参加しているAさんのお話しです。活動の挨拶を行うと、次に取り組むのが男性支援者の顔写真と名前のマッチング。男性支援者の名前を呼んでいる姿の印象はありませんでしたが、様子を観ていると、「〇〇！」と写真を指差しながら呼んでいて、名前も一致。それに加えて、男性支援者を真似て低い声を出していたりと、初めて見る姿に驚きもありましたが、こんな事も出来るんだ！と新たな一面を見られたことの嬉しさの方が大きかったです。

生活の場面で見られるご利用者さんの姿と活動の場面で見られるご利用者さんのそれぞれ違った‘姿’。今年度は、どんな新しい利用者さんの姿が見られるのか楽しみに、活動に取り組んでいきたいと思えます。

生活支援員 鈴木 麻椰

## ★「できた！が増える・成長できる！」～作業・活動紹介のコーナー～★

こぶしでは「人は生涯に渡って成長・発達し続ける」という考えを大切にしています。毎日の作業活動の中では少しでも「👉できた👈」が増えるよう支援者による工夫が散りばめられています～♪

### ①紹介したい作業内容

封緘作業（請負作業）

### ②作業のねらいは？

部材の種類に応じて作業を行うことが出来るようにする

### ③どんな工夫をしていますか？

机上で滑りにくくするためにブックエンドを固定してストッパーとして使用してもらっている

### ④利用者さんのできた！や新たな発見を教えてください

封緘には中に入れてある封入物に合わせて封をするもの、袋の口に合わせて封をするものなど色々な種類がありますが、袋を手で滑らないよう固定しながら封をするのはとても難しいです。Aさんは上記のストッパーを使うことで、内容物を押し込んで封緘するタイプの作業ができるようになりました！

### ⑤最後に…こぶしだよりを読んでいる方へメッセージをお願いします

清瀬事業所では喫茶店作業の他に、請負の内職作業を行っています。工夫により「あと一步」の後押しをする支援を行うことで、できることは限りなく広がります。これからも「できた！」を増やしていきたいです。

（ 清瀬事業所 大神田 千恵 ）



## ★「できた！が増える・成長できる！」～作業・活動紹介のコーナー～★

こぶしでは「人は生涯に渡って成長・発達し続ける」という考えを大切にしています。毎日の作業活動の中では少しでも「👉できた👈」が増えるよう支援者による工夫が散りばめられています～♪

### ①紹介したい活動内容

毎週火曜日 AMに行っている、リラクゼーションの活動です！

### ②活動のねらいは？

リラックスした時間の提供、血流促進、感覚を楽しむことをねらいとしています。

### ③どんな工夫をしていますか？

アロママッサージ、ハンモックやバランスクッションなど用意して、好きなものを選んで参加してもらっています！

### ④利用者さんのできた！や新たな発見を教えてください

写真のご利用者様、5月の天気の良い涼しい日に、テラスでハンモックに乗りました！

こいのぼりを眺めながら、満面の笑みでハンモックに乗っていた姿がとても印象的でした！

### ⑤最後に…こぶしだよりを読んでいる方へメッセージをお願いします

作業や活動を通して、出来た！楽しい！出来なかったことができるようになった！ことを共有出来るときに、とてもやりがいを感じます。引き続き、ご利用者様の出来た！楽しい！を引き出せる作業や活動提供を行っていきます！

（ 基本プログラム課 矢部 帆乃 ）

